

言語に恣意性はあるか：
背景色変化による単語からイ
メージされるものへの影響

小形昭博

はじめに

あるシグニファイアからイメージされるシグニ
ファイドの関係には必然性がないことが言語の
恣意性として知られている。
この言語の恣意性は人の経験の差による影響な
ど様々な要因が考えられるが、今回は単語が提
示される画像の背景色による影響がどの程度あ
るのかを調べていく。
この実験は自身の経験による影響だけでなく、
回答時の状況によってシグニファイドが影響さ
れるのかの調査として重要である。

方法

GoogleFormのアンケートを3種類作成し、回答
者全26名に3種類のうちの1種類をランダムに選
択し回答していただいた。
それぞれのGoogleFormでは図1のように、背景
に色がついた単語の画像が提示され、この単語
からイメージするものの色などの情報を選択肢
から選ぶというものである。
それぞれのアンケートは選択肢の順番や設問の
文章など背景色以外の情報は統一している。

結果

表1,2,3がGoogleFormを用いて行ったアンケー
トの結果である。
それぞれ提示した単語は”空(そら)”、”花”、”果
物”である。
表の中の数値は回答した人数を表していて、表
の中の丸が付いている部分は背景色と想像した
ものの色が一致した人数を表している。
全ての単語について、想像したものの色と背景
色が一致する人数は表縦列で最大となる結果に
なった。

結論：背景色によりイメージされ るものは有意に変化する



図1 GoogleFormに掲載した画像。この画像
から花をイメージしたときに何色の花をイメー
ジするかを集計した。

表2 “花”という単語から想像したものの色の
調査結果

背景色	想像したものの色				合計 人数
	青	紫	赤	その他	
青	4	2	0	3	9
紫	0	4	1	3	8
赤	0	0	4	5	9

表1 “空(そら)”という単語から想像したもの
の色の調査結果

背景色	想像したものの色				合計 人数
	オレンジ	藍色	水色	その他	
オレンジ	3	0	6	0	9
藍色	0	1	5	2	8
水色	0	0	8	1	9

表3 “果物”という単語から想像したものの色
の調査結果

背景色	想像したものの色				合計 人数
	赤	オレンジ	黄	その他	
赤	8	0	1	0	9
オレンジ	0	5	3	0	8
黄	1	0	8	0	9

考察

実験では、GoogleFormによるオンラインアン
ケートという性質上回答者の状況を統制するこ
とはできなかったが、それでも結果から背景色
と想像するものの色には優位な関係性があると
考えられる。
そのため、背景色の変化といった要因からも言
語の恣意性が現れていると言えるだろう。
また、関連する研究として、S.Fatemeh
Hosseiniらの実験では、赤色とオレンジ色の背
景では他の色に比べて英単語保持スコアが有意
に高いということが明らかにされている。そし
て、YunChenらの研究では被験者に単語対し
て色を選択させる実験で、国籍の差により選択
する色の差が生まれることを明らかにしている。
前者の研究は背景色が言語に与える影響がある
ことを示唆していて、後者の研究は国籍により
この実験結果が変わりうることを示唆している
と考えられる。

おわりに

GoogleFormを用いたアンケートの結果から背
景色とイメージされたものの色の関係のデータ
をとり、単語から背景色と同色のものをイメー
ジしやすいと結論づけた。
この実験は、無意識化に起こり得る言語イメー
ジの偏りをデータとして表したことに意味があ
るだろう。

文献

S. Fatemeh Hosseini, Z. Ghabanchi, 「 What’s in a
Color? A neuropsycholinguistic study on the effect
of colors on EEG brainwaves, immediate emotional
responses, and English language vocabulary
retention among Iranian young adults 」, Journal of
Neurolinguistics, 63, 2022 August
Yun Chen, Qianqian Pan, Jie Yang, Marjan Vazirian,
Stephen Westland, 「 A Method for Exploring
Word-Colour Associations 」, Color Research &
Application, 2019 August